## 慶應義塾大学学術情報リポジトリ

Keio Associated Repository of Academic resouces

Title	2015年度『ベスト・プレゼンテーション賞』選考結果
Sub Title	Best presentation award
Author	
Publisher	三田図書館・情報学会
Publication year	2015
Jtitle	Library and information science No.74 (2015.),p.71-71
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00003 152-00000074-0071

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

## 2015 年度『ベスト・プレゼンテーション賞』 選考結果

ベスト・プレゼンテーション賞は、研究大会における口頭発表の中から、優れた発表者を 選び表彰するものです。

発表者は、口頭発表では、決められた時間の中で、研究の内容を正確に伝え、また、聞き手にわかりやすいよう細部まで行き届いた配慮をし、説明する必要があります。こうしたプレゼンテーションに対する意識を高めること、さらにその技能の向上を目指してこの賞を設けました。

2015年度の対象者は学生としての所属を明示した登壇発表者(大学院生など)とし、研究内容とプレゼンテーション技法の両方の評価に基づく投票を行いました。(なお、2007年度から2011年度までは発表者全員を対象とし、発表の内容ではなく、プレゼンテーション技法を評価の対象としました。)

この賞の受賞者は、研究大会の参加者の投票によって選ばれます。今回は37票の投票があり、以下の発表が最多の10票を獲得しました。

2015年度ベスト・プレゼンテーション賞受賞者

山下 樹子氏 (慶應義塾大学大学院)

発表題目: 短期大学の使命と図書館: 第三者評価結果による分析

得票の主な理由は、話し方もスライドもわかりやすかった、話す声の大きさやスピードが適切だった、質問への回答内容が明快でわかりやすかった、などでした。受賞した発表スライドの PDF 版を学会ウェブサイトで公開しています。